

目次 Contents

02	今月の焦点1 下里運動公園・人工芝球技場が6月オープン
06	今月の焦点2 安全安心のまちを目指して
08	今月の焦点3 東日本大震災から5年を迎えて
10	情報 PICK UP ・3月6日(日)は河川一斉清掃 ・マイナンバーカードのお知らせ
11	教育立市宣言シリーズ
12	市政と関連情報 モックル生活ガイド 健康 12、高齢者 13、子育て 14、教育・文化 15、暮らし 16、安全安心 20、障がい者 20、協働 23、パブリックコメント 23、税金 24、保険・年金 25、フォト 25
18	フォトニュースかわちながの
22	奥河内くろまろの郷通信 かわちながのフォトレポート
26	シリーズ人権連載 はいこちら教育相談センターです 商品やサービスについての苦情や相談は消費生活センターへ
28	情報プラザ お知らせ 28、講演・講座 29、展示・催し 31、スポーツ 32、募集 34、相談 35
36	食きらりレシピで笑顔の食卓育もう

●掲載情報の見方

対象に明記のないものは市内在住・在学・在勤者が対象▶催しなどで費用の記載のないものは無料▶申し込みが必要な催しなどの持ち物は主催者からの連絡などで確認を▶先着順の申し込みで時間の記載のないものは午前9時から受付▶申し込み・問い合わせなどで住所・電話番号の記載がないものは市役所へ(業務日・時間は月～金曜日午前9時～午後5時30分、祝休日・年末年始を除く)
●環境への配慮から、催しなどへの来場はできるだけ公共交通機関のご利用を。

市民大学くろまろ塾・くろまろキッズの認定講座や催しにはこのマーク


 くらまろキッズ (小中学生対象)

市役所: 〒586-8501 (住所不要)
☎ 53-1111 (代表)

スポーツの力で まちを元気に！

◎今月の焦点1 下里運動公園・人工芝球技場が6月オープン

スポーツは、暮らしの中の楽しみ、青少年の教育、そして地域の交流を促し健康を維持増進するものとして、多くの人たちに親しまれています。その活動を支える新たな場として6月1日、人工芝球技場を備えた下里運動公園がいよいよオープンします。市では今後も関係団体と連携を図りながら、スポーツの普及・振興に取り組むとともに、その力を生かした活力あるまちづくりを進めていきます。

問い合わせ 文化・スポーツ振興課



5月1日から申し込み受付を開始します

■6・7月利用分

申し込み方法 オープス・スポーツ施設情報システム(登録者のみ)または市民総合体育館窓口で(先着順▽市外の人は6月1日から受付)

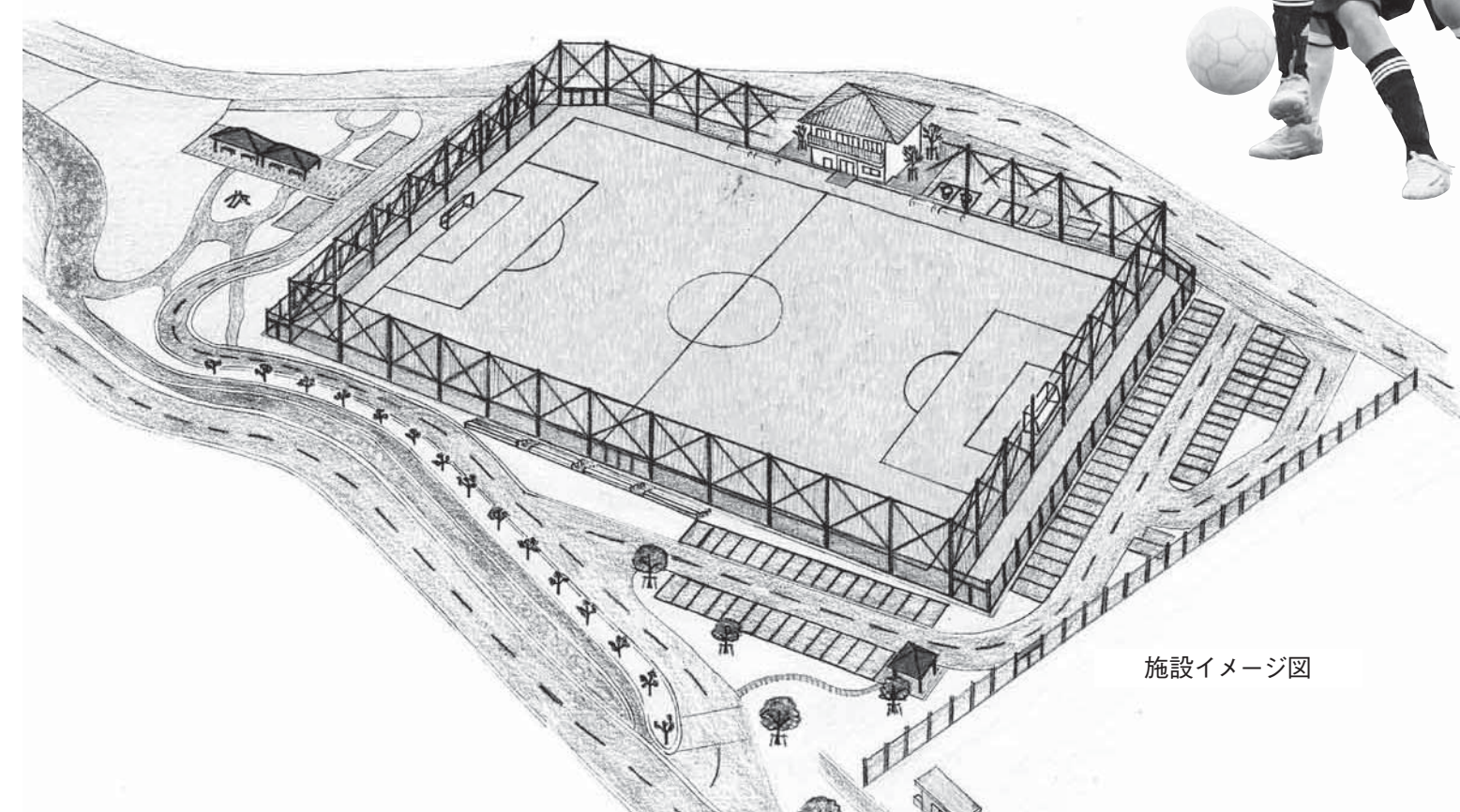
■8月以降利用分

申し込み方法 ①利用月の3か月前の1日～10日にシステムで抽選申し込み(市内の団体登録者のみ▽11日抽選)

②同12日～18日にシステムで抽選結果の確認と当選分の利用申請、③同12日～利用当日にシステムまたは体育館窓口で空き利用申し込み(先着順▽市外の人は利用月の2か月前の1日から受付)
※システムへの登録方法など詳しくは市民総合体育館(☎65・0121、受付は午前9時～午後5時30分・月曜(祝日の場合は翌日)休館)へ問い合わせを。

施設名・区分		利用料金 (全面1時間当たり・予定)
人工芝球技場	平日	2,500 円
	土日祝日	3,000 円
	照明設備	1,000 円
コミュニティルーム		400 円

※開場時間は午前7時～午後9時(時間区分など詳しくは4月下旬に市ホームページなどでお知らせします。)



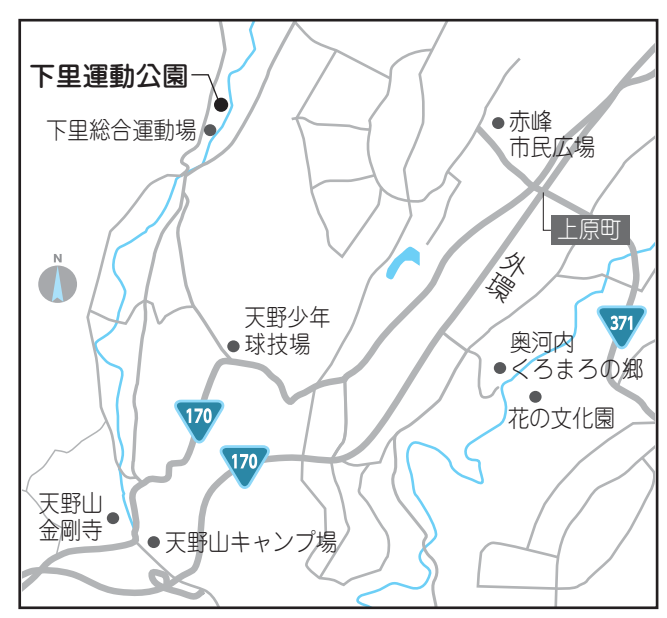
施設イメージ図

■施設の概要(約 21,000 平方メートル)

- ①人工芝球技場(夜間照明設備あり)
サッカーコート1面(公式試合サイズ 105メートル×68メートル)子ども用(68メートル×50メートル)で使用する場合は2面(ラグビーやグラウンド・ゴルフなどでも使用可)
- ②管理棟(2階建て)
コミュニティルーム、管理室、放送室、ロッカー室など
- ③公園設備(芝生広場、遊具など)
- ④観覧席(約 250 人分)
- ⑤駐車場(約 160 台分)・駐輪場(約 50 台分)

■指定管理者

特定非営利活動法人河内長野市総合スポーツ振興会
(市民総合体育館内、☎ 65-0121)





下里運動公園などに 車椅子が寄贈されました

1月19日、社会福祉活動に取り組む南花台れんげグループ（新居玲子代表）から市に車椅子2台が寄贈されました。車椅子は下里運動公園と消防庁舎に配備し、来訪される障がい者や高齢者などに広く使用していただきます。



未来のなでしこが全国大会に出場

南河内地区の女子小学生混合チーム「Medley Girl's FC」に所属する（写真左から）柏原希泉さん（三田市FC）、須山陽菜さん（加賀田FC）、田中凜さん（長野FC）が2月5日、市役所を訪れ、同27日に開幕する「びわ湖カップなでしこサッカー大会（U-12）」への出場を芝田市長に報告しました。同チームは、大阪、関西大会を突破し、全国大会への出場権を勝ち取りました。



河内長野市立長野中学校
サッカー部前主将 岡村 康平 さん

人工芝でのプレーは特別 スポーツの魅力を多くの人に

長野中学校サッカー部は、昨年8月に行われた全国中学校サッカー大会に、大阪大会を制し、近畿大会で準優勝して初出場を果たしました。その際、たくさんの応援をいただいたことに感謝しています。大阪大会では、南河内地区大会を勝ち上がり、中央大会へ進出すると、会場は人工芝に。その環境に少しでも慣れようと、人工芝のフットサルコートでみんなで練習したことが思い出されます。人工芝は土に比べてプレーしやすく、選手は特別感もあって高いモチベーションで

臨むことができます。当時は振り返っても今回、これまで近くになかった人工芝のフルサイズのサッカーコートが市内に整備されるのは、大変ありがたいことです。全国大会に出場できたことは大きな自信になりました。仲間とともに大会を勝ち上がる中で得た様々な経験は、負けた時の悔しさも含めて、今後の人生にとってかけがえない財産です。今は、僕たちに貴重な経験をさせてくれたスポーツの魅力を、よりたくさんの人に味わってほしいと思っています。

スポーツの力で 活力あるまちづくり

市長 芝田 啓治

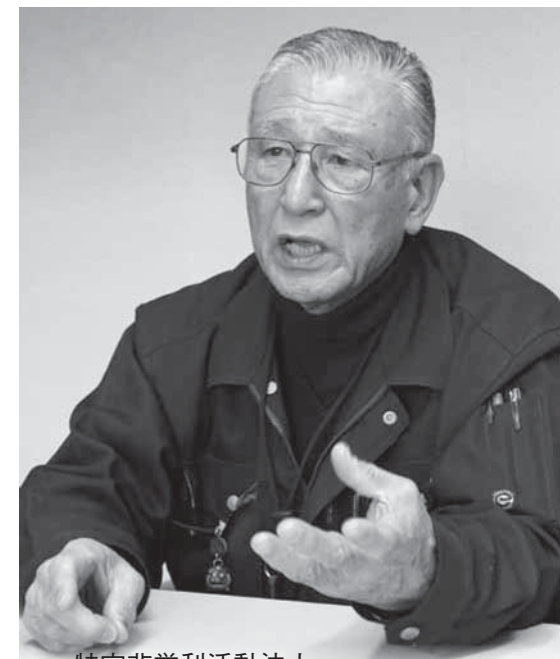


6月、人工芝球技場をメインとした下里運動公園がいよいよオープンします。サッカーやラグビー、グラウンド・ゴルフなどの競技をはじめ、スポーツを通じて交流の場として、市内外の多くのみなさんに、ぜひご利用いただきたいと願っております。この新たな施設で育まれた子どもたちの中から将来、世界の舞台で活躍する選手が誕生してくれることを期待しますとともに、さらに魅力ある河内長野市となるよう、「奥河内くろまろの郷」などとも連携しながら、活力あるまちづくりを推進してまいります。



総合スポーツ振興会は、スポーツの普及・振興や市民のみなさんの健康増進を図る重要な役割を担うとともに、スポーツ施設の指定管理者としての業務も行っています。市内のスポーツ施設では初となる人工芝球技場。市民の誇りとなる施設ができることを歓迎する一方で、管理者としては、まちの財産として施設を有効に活用し、未来につないでいく責任の重さも感じています。スポーツの素晴らしさを次世代に伝えていくことは私たちの使命です。この施設があらゆる世代のスポーツに親し

む場となるだけでなく、特に子どもたちが競技力の向上を目指す中で、水泳の藤井拓郎選手のように国際大会で活躍する選手が育ってくれることも期待しています。スポーツは、「する人」だけでなく、「見る人」も楽しむことができます。プレーする人ももちろん、そうでない人も施設にぜひ足を運んでいただき、それを楽しんでくれるような観戦イベントや施設の見学会などの企画を、傘下の種目別競技団体と連携しながら打ち出していければと考えています。



特定非営利活動法人
河内長野市総合スポーツ振興会
理事長 吉田 稔 さん

スポーツの素晴らしさを未来へ

山田孝さん（市サッカー 連盟会長）

小学校を拠点に、少年サッカーの普及に取り組み始めたのは約40年前。活動は市内に広がり、昨年は当連盟チーム出身の丹羽大輝選手がサッカー日本代表に選ばれ、今年、念願の人工芝球技場がオープンします。長年の取り組みが実を結んだようで感無量です。今後も、サッカーを通して、青少年の健全な育成に尽力したいと思います。

福本富勝さん（河内長野ラ グビースポーツ少年団代表）

今年1月に開催された全国高校ラグビー大会には、当団出身の5人が選手として出場しました。数年前、土のグラウンドで真つ黒になりながら練習を積んだ頃を懐かしく思い出します。

voice
～私たちの思い～

昨年のラグビーワールドカップでの日本代表の活躍があり、ラグビー界は大いに盛り上がっています。この追い風の中、人工芝球技場が整備されます。このまちから世界に羽ばたく選手の育成を目指して、日々練習に取り組みたいと思っています。

山口泰弘さん（市グラウン ド・ゴルフ協会会長）

グラウンド・ゴルフは、生涯スポーツとして特に高齢者に人気があります。平日に人工芝球技場を利用した大会を開催し、市内や近隣の市の人たちと交流を深め、互いの健康長寿に努めたいと考えています。

北尻平さん（下里地区区長）

地元住民としても下里運動公園の発展を応援することで、地域の活性化にもつながっていければ。そのためにも、市として周辺環境の改善に引き続き取り組んでほしいと思います。

ご存じですか？緊急通報システム

65歳以上の一人暮らしの高齢者などが、急病時や健康に関する相談を行いたい時に、ボタンを押すだけで、市が委託している警備会社（ALSOK）の受信センターや健康相談センターに直接つながり、緊急対応要員の出動や消防への通報、健康相談などの対応を365日24時間実施します。また、自宅内で生活活動が感知できなかった場合は、安否センサーにより自動的に受信センターに通報が届き、緊急対応要員が出動し安否を確認します。装置は電話回線があれば設置が可能です。利用するには緊急連絡先の登録や自宅の合鍵を預ける必要があります。また、利用料が発生する場合がありますので、詳しくは問い合わせを。

問い合わせ いきいき高齢課



一人ではないという感覚に
(高向在住 81歳 女性)



友達に教えてもらって緊急通報システムを設置しました。それまでは、一人暮らしで不安でしたが、今は、万が一何かあれば緊急対応の人にかけてもらえる。いつも見守られているという感覚があるので、高齢者の一人暮らしには心強いです。

●今月の焦点2

安全安心のまちを目指して

本市は平成27年中の全刑法認知件数から換算した犯罪率が、府内33市中で最も低い市となりました。これは市が実施している犯罪を防ぐ取り組みに加え、市民のみなさんの防犯活動や地域の自主防犯組織の活動などによるものです。

一方、少子高齢化による一人暮らし世帯も年々増加しており、市では孤立死などを未然に防止することを目的に新聞販売店や電気、ガスなどの民間事業者と見守り活動に関する協定を締結するなど安否確認の体制を強化しています。

今回、市が実施している様々な施策を紹介することで、より一層市民のみなさんに活用いただき、犯罪や孤立死のない安全安心のまちを目指していきます。

犯罪を未然に防止する

■防犯灯の新設・LED化

市では事故の未然防止、歩行者の安全確保などを目的として、自治会からの申請により、防犯灯を設置しています。

また、自治会で維持管理している防犯灯の電気代の一部を市で補助しています。

なお、平成26年度から30年度の5か年で自治会の防犯灯をLED化する事業を進めており、平成28年1月現在、40%の防犯灯がLED化されました。



■防犯カメラの設置を推進

市内の街頭犯罪、侵入盗などを未然に防止するため、市の防犯カメラ設置に関する基準に基づき、防犯カメラを新たに設置する自治会などに対し、設置補助金を交付しています。

平成28年1月末現在、駐輪



場や駅前などに設置した市の防犯カメラは26台、市が補助した自治会設置のカメラが83台となっています。

なお、防犯カメラを設置する場合は、「自治会内の総意を得る」「プライバシーに配慮する」などの条件があります。詳しくは問い合わせを。

■その他の防犯事業

市では防犯事業として、自主防犯活動への補助、安全安心パトロールや防犯声かけ運動へのステッカーやベスト・腕章の貸与のほか、防犯出前講座の実施など地域の自主的な防犯活動の啓発・推進を行っています。

問い合わせ 自治振興課

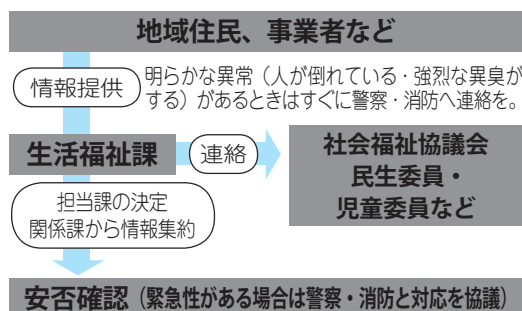


単身世帯も安心して暮らせるまちに

■増え続ける単身世帯
高齢化や未婚者の増加など単身世帯は年々増加しています。国勢調査（平成22年）によると本市の65歳以上の人の割合が25%、単身世帯も全体の2割に近く、その半分を高齢者が占めています。

■安否確認の体制を強化
市では、一人暮らしの高齢者などの安否確認の手順を定めた取り組み方針（下図）を作っています。同方針では、市民からの情報提供の窓口を生活福祉課に一本化、高齢者や障がい者など状況に応じて

●安否確認の手順●



担当課の職員が実際に訪問し安否確認を行います。同時に関係課が連携して住民登録や医療・水道の利用状況などを確認します。訪問した職員が異変を確認し、緊急性がある

●5事業者と一人暮らし等の見守り活動に関する協定を締結

市では1月29日、大阪いずみ市民生活協同組合と置き薬などの布亀株式会社（写真①）、河内長野ガス株式会社、大阪ガス株式会社、関西電力株式会社（写真②③）の5事業者と一人暮らし等の市民の「孤立死」を未然に防止することを旨とする協定を締結しました。市ではこれら5社および既に締結している事業者と連携しながら、安全・安心のまちづくりをさらに進めていきます。



と判断した場合は、警察や消防に連絡して対応を協議し、安否が確認できるまで継続して関わります。

■日常的な見守り体制を強化
自治会（町会）や民生委員・児童委員、地区福祉委員などによる地域の見守り活動に加え、市では広報紙の配送業者、郵便局、新聞販売店、水道検針、最近では生協、置き薬、ガス、電気（左記事参照）などの民間事業者が日常業務で異変を発見した場合に通報してもらう体制づくりを進めています。今後も趣旨に賛同いただける事業者と協議を進め、見守り体制を強化していきます。

問い合わせ 生活福祉課

防犯カメラの設置で犯罪抑止力を実感

南花台自治会では平成26年12月から地区外とつながる道路にカメラ6台を設置しています。設置前と比較しても犯罪が減少していることから、防犯カメラの犯罪抑止力を実感しています。同時に設置した告知看板も効果がありそうです。

よく「防犯カメラはプライバシーの侵害が心配」といわれますが、実際、映像は機械内部に記録されるだけで、警察や裁判所などの公的機関からの要請がなければ見られることはありません。当地区ではカメラの管理規定を厳格に運用することで、住民のみなさんのこうした不安を解消するとともに防犯カメラの犯罪抑止力を活かした安全安心のまちづくりに取り組んでいます。



南花台自治会のみなさん（左から高橋勇司会長、森口眞典さん、向平健伸副会長）

東日本大震災への 義援金は受付中です

■3月31日まで

市では、次の施設に募金箱を設置しています。市民のみなさんのご協力をお願いします。平成28年2月5日現在、義援金の累計金額は4425万1702円になりました。なお、義援金は日本赤十字社を通して被災地へ送られます。

設置場所 市役所生活福祉課、各公民館、図書館、キックス、ラブリーホール、保健センター、くすのかホール、三日市窓口センター、福祉センター錦湊苑、市民総合体育館、みのでホール、障がい者福祉センターあかみね、子ども・子育て総合センターあいつく、社会福祉協議会、林業総合センター「木根館」、岩湧の森「四季彩館」、滝畑ふるさと文化財の森センター
※各施設の開館時間中の受付となります▷領収書が必要な場合は生活福祉課か社会福祉協議会へ。

問い合わせ 生活福祉課・社会福祉協議会 ☎65-0133



▲壁画は日本地図上で河内長野市と大槌町を結ぶデザイン（縦2.7m、横5.4m）

市の今までの取り組み

■未使用テレカを義援金に

東日本大震災があった平成23年に、未使用テレホンカード（テレカ）を活用し、義援金を大槌町に送る支援事業を実施

施しました。集まったテレカは1194枚、金額にして581万978円になりました。また、府立長野高校の生徒らの協力で、テレカを提供いただいた人々への感謝と被災地への支援の気持ちを形で作すため、テレカで壁画を制作しました。

■憩いと安らぎを

震災から1年が経過した平成24年5月に、憩いと安らぎを大槌町へ届けるため、NPO法人フルル花と福祉の地域応援ネットワークや市民公益活動支援センター、市民ボランティアのメンバーや、市職員などが大槌町を訪問。テラコッタドールや古着を裂いて編んだマッ

ト、花の文化園が品種改良した「復興タリア」の花の苗「ひよっこりひょうたん島」をイメージしたモニユメントなどを贈りました。また、テラコッタドールやマットづくり、たこ焼きの振る舞いなどを催し、町民のみなさんとの交流を深めました。

■市職員を派遣

震災直後に緊急消防援助や救護物資の仕分け、避難所運営の支援、給水支援のために職員を派遣しました。また、平成25年度からは毎年度、職員1人を長期（1年）で派遣しています。

問い合わせ 人事課

支援から交流へ

「支援の気持ちを形にできれば」。そんな思いで、みなさんから河内長野ロータリークラブに寄せられた義援金の活用を検討していた時、大槌町の大槌中学校吹奏楽部の楽器が東日本大震災・津波のために一部流出したことを知り、楽器を贈ることに。それもあって、毎年10月に開催されている定期演奏会を無事行うことができたそうです。

「決して押し付けであってほならない」。今後の活動について、私たちはそう考えています。実際に現地に行つて話す中で得られたアイデアから生まれた市内での「大槌町の物産販売」や「大槌町の方の講演会・絵画展示会」などの活動が、大槌町・震災についての市民の理解に寄与できていることを願っています。マスコミを通して見るものと現地で感じるものは大きく異なります。たくさんの方にぜひ一度大槌町へ足を運んでいただきたいと思います。そこには、きっと十人十色の感じ方があるはずです。



大槌町を支援する河内長野市民の会
会長 石倉保彦さん(右) 副会長 生地孝至さん

◎今月の焦点3 東日本大震災から5年を迎えて

がんばれ東北！！

～岩手県を巡ってみませんか～

東日本大震災の被災地では、復旧・復興に向けた懸命の取り組みが続いています。5年を迎えようとする中で、復興をさらに加速させるために、観光などによる交流人口の拡大が求められています。「温泉・おいしい食事・美しい景色」を楽しむことが東北を元気にしますので、旅行を計画してみませんか。ここでは、岩手県の観光地や市がカウンターパートナーとしている大槌町への取り組みなどを紹介します。

◀井上ひさしさんの「ひよっこりひょうたん島」のモデルと言われる蓬萊島（大槌町▷場所は下の地図参照）



一度は行ってみたい岩手県の観光スポットと大槌町



③岩手山と一本桜（岩手郡雫石町）
小岩井農場は120年余の歴史をもつ日本最大級の民間農場。自然体験プログラムやグルメが人気で、春には岩手山を背景に咲き誇る一本桜で知られる。



④平泉（西磐井郡平泉町）
12世紀に奥州藤原氏が平和の祈りをこめて築いた平泉は、平成23年6月に世界文化遺産に登録。四季折々の美しさをみせる中尊寺、毛越寺などゆっくりと巡ってみては。



①三陸鉄道（北リアス線・南リアス線）
岩手の沿岸を走るローカル鉄道。東日本大震災津波で大きな被害を受けたが、平成26年4月に全線運行再開した。ドラマ「あまちゃん」にも登場し話題に。



②奇跡の一本松（陸前高田市）
高田松原にあった約7万本の松林のうち、東日本大震災津波で1本だけ残った松が「奇跡の一本松」として復興のシンボルに。

教育委員会表彰

平成 27 年度教育委員会表彰式が 2 月 24 日に行われました。
教育委員会表彰は、文化活動やスポーツ分野などで優秀な成績を収め、公募などにより推薦された個人や団体の中から、教育委員会表彰規程に基づいて審査会で審査のうえ、1 月定例会教育委員会の議決を経て表彰するものです。
晴れの受賞者は次のみなさんです（氏名・団体名は順不同）。

問い合わせ 教育総務課

◎個人の部

上野永珂さん（天野小 5 年、料理）

寺地茜さん（東中 3 年、ソフトボール）

谷川実優さん（千代田中 3 年、バントントワーリング）

箕田圭太さん（千代田中 3 年、水泳）

悦過大知さん（西中 2 年、水泳）

山田未優さん（南花台中 1 年、バントントワーリング）

東大地さん（美加の台中 2 年、レスリング）

今永虎雅さん（奈良県立王寺工業高 1 年、ボクシング）

金戸輝さん（金蘭会高 2 年、バレーボール）

新居良介さん（大阪桐蔭高 3 年、ラグビー）

辻惇朗さん（常翔学園高 3 年、ラグビー）

金子卓哉さん（フライングディスク）

堀野正さん（棒高跳び）

◎団体の部

長野中学校サッカー部

清教学園中学校男子硬式テニス部

河内長野青年会議所
（小学生の心身の鍛錬などへの貢献）

年賀はがきコンクール

小中学生に手書きの年賀状を作ることで「書く力」を高め、コミュニケーションの楽しさを感じてもらおうと開催した「年賀はがきコンクール」（河内長野郵便局共催）。3 年後の自分自身や、郷土の偉人・高向玄理に、メッセージやふるさと河内長野の好きなところ、新年の抱負などを描いた年賀状を出そうと呼び掛けたところ、2 回目となる今回は 1621 点の応募がありました。
審査の結果、市長賞に川路流菜さん（楠小 1 年、①）、教育長賞に小上珠貴さん（千代田中 3 年、②）の作品が選ばれ、19 点が入賞しました。

問い合わせ 学校教育課



※「教育立市宣言シリーズ」は今回で終了します。ご愛読ありがとうございました。

3月6日(日)は河川一斉清掃

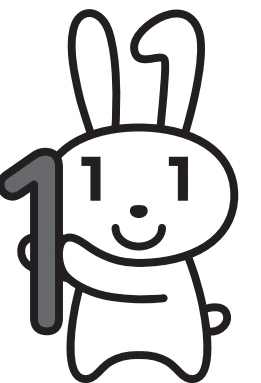


私たちの
川を美しく

とき 3 月 6 日(日)午前 9 時～10 時
（宮山橋は 11 時まで）▽荒天中止
集合 石川＝落合橋（長野町）・
千代田橋（汐の宮町）・町井橋（高
向）・宮山橋（高向）・谷口橋（日
野）・新関屋橋（滝畑）・西條大
橋上流（栄町）・西除川＝高橋（下
里町）・金剛寺（天野町）・加賀田
川＝車作橋（加賀田）・天見川＝
高橋（岩瀬）・出合橋（天見）・
新喜多橋（大師町）・石見川＝葛
野橋（神方丘・鳩原橋（鳩原）・
新町町内会館（石仏）
※当日は作業のできる服装で参
加を▽軍手、ごみ袋などの清掃
用具は市で用意▽メイン会場と
なる宮山橋では、「水とエネ
ギーに関する講演会」（午前 10 時
から）や各種展示を行います▽
実施の有無の問い合わせは当日
午前 7 時～7 時 30 分に環境政策
課へ。
問い合わせ 環境政策課

マイナンバーカードの お知らせ

問い合わせ 市民窓口課



■通知カードの受け取りが
まだの人は市役所へ問い合
わせを
受取人不在などの理由で
配達できなかった通知カー
ドが市役所に返送されてい
ます。まだカードを受け取
られていない人は、市役所
に返送されているか事前に
確認の上、受け取りをお願
いします。

受取方法 本人確認書類（運
転免許証など写真付きの場合
は 1 点▽写真付きでない場合
は 2 点）を持って市民窓口課へ
※代理人が受け取る場合は、
通知カード名義人の本人確認
書類と併せて、代理人の本人
確認書類と委任状の提出が必
要です。
■個人番号カードの受け取り
はがきが届いてから
個人番号カードの交付申請
をいただいた人にカードの準
備ができ次第、市から「個人
番号カード交付・電子証明書
発行通知書兼照会書」（はが
き）を送付します。
受取方法 はがきに記載され
た書類を持って市民窓口課へ
※詳しくは通知カード送付時
の案内や、ホームページ（「個
人番号カード総合サイト」で
検索）をご覧ください。



●健康支援センター● 4月から利用を再開します

健康支援センター（ウェルネスフォレスト三日市）の臨時休館について、利用者みなさんにご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

市では、平成17年度から当施設の指定管理者として一般財団法人健康管理・開発センターに運営管理を行わせてきましたが、昨年11月～今年1月分の共益費を滞納したことなどにより、同財団による適正な施設運営は困難と判断し、1月31日付で指定を取り消しました。

なお、4月1日から新たな事業者（HOSグループ）により利用を再開します（入会手続きなどは右記参照）。今後は事業者の経理・運営状況調査を強化するとともに、現場を把握し、事業者と共に良い施設を目指してまいりますので、再開後も引き続きご利用くださいますようお願い申し上げます。

問い合わせ 保健センター（☎ 55-0301）

●三日市市民ホール● 申し込み窓口を変更しています

3月末までの利用申し込み窓口 ①月～金曜日＝市役所自治振興課、②月曜日・木曜日～日曜日＝三日市窓口センター▷時間はいずれも午前9時～午後5時30分（祝休日は除く）▷予約システムの利用者登録は①のみ※同ホールの電話は使用できません。

問い合わせ 自治振興課

いきいき介護教室

■ミニサロン～コタツでほっこり梅見物～

対象 家族の介護をしている市内在住者

とき 3月9日(水)午前11時～午後1時

ところ 府立花の文化園

※入園料（大人500円）が必要。

申し込み・問い合わせ

西部地域包括支援センター（☎ 56-6600）

認知症家族の会のつどい

対象 認知症の人を介護している家族

とき 4月2日(土)、6月4日(土)午後1時30分～3時30分

ところ ノパティホール（ノパティながの南館内）

参加費 400円（河内長野家族の会会員は無料）※認知症の人と一緒に参加できます▷介護を希望する場合はご相談を。

申し込み・問い合わせ 同会の濱名さん（☎ 63-2602）、富岡さん（☎ 53-9858）

入会受付を開始します

受付 3月1日（子どもスイミングスクール会員は15日）から健康支援センターへ（時間は午前10時～午後7時〈土・日曜日は午後5時まで〉）▷3月8日(火)・30日(水)・31日(木)は休館）

入会に必要なもの ①初回登録料（200円）、②初月分の月会費（下表参照）、③振替口座の通帳またはキャッシュカードと届出印、④公的な身分証明書、⑤会員証（所有者のみ）

■説明会を実施します

とき 3月2日(水)～28日(月)で次のとおり（1時間程度）
月・水・金曜日＝午前10時～、午後1時～、6時～
日曜日＝午前10時～、午後1時～、3時～

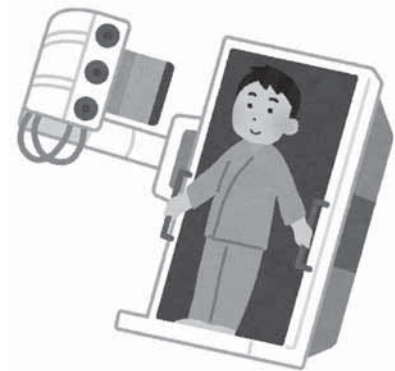
内容 会員システムや各プログラムの説明など

※当日直接健康支援センターへ。

問い合わせ 健康支援センター（☎ 62-1919）▷3月1日から）

主な会員種別	月会費(税込み)
①レギュラー会員（開館時間内はすべて利用可）	6,000円
②ホリデーナイト会員（月～金曜日午後6時～10時、土曜日午前10時～午後10時、日曜日・祝休日午前10時～午後7時のみ利用可）	5,000円
③子どもスイミングスクール会員	4,000円

※会員の対象は①②が高校生以上、③が中学生以下▷①②はプール・ジム・フィットネススタジオの施設と、それらを使ったプログラムレッスンがすべて利用できます。
※1回利用の条件（プール・ジムそれぞれで利用料が必要）・金額（一般600円）などに変更はありません。



検診内容・対象 大腸がん・胃がん・肺がんの各検診Ⅱ40歳以上の市民、乳がん検診Ⅱ40歳以上で平成28年度に奇数年齢になるか平成27年度に未受診の女性市民
とき 4月15日(金)・19日(火)、5月6日(金)・27日(金)▽午前中（乳がん検診のみ受診の場合は午後）に実施▽定員あり
ところ 保健センター

保健センターで実施するがん検診（有料）

問い合わせ 保健センター
〒556-0001 菊水町2-13
(☎ 55-0301)
※対象の記載がない同センターの事業は市民が対象。



健康

費用 大腸がん・肺がんⅡ各500円、胃がん・乳がんⅡ各1000円
※生活保護世帯の人は費用免除制度あり。
申し込み 3月9日から電話で同センターへ（先着順）▽市ホームページからも申し込み可
※個別医療機関でも受診できます▽詳しくは問い合わせを。

糖尿病予防相談

対象 血糖・ヘモグロビンA1cが高め（NGSP値6.9%未満）で、治療を受けていない市民
とき 3月17日(木)、4月19日(火)午前9時30分～11時30分
ところ 保健センター

内容 保健師や管理栄養士による相談
申し込み 電話で同センターへ

健康づくり推進員と 楽しむ催し・教室

■ちよこつとハイクゥ春風に
さそわれてゝ

とき 3月9日(水)午前10時～
正午（受付は午前9時30分～



▽雨天中止）
集合・解散 保健センター
行き先 烏帽子形城跡（約6^キ）
持ち物 飲み物、タオル
※当日直接集合場所へ。

■体操教室く何歳になっても
自分で動ける体づくりく

とき 3月18日(金)午前10時～11時30分

ところ キックス
定員 50人（先着順）
申し込み 3月7日から電話で保健センターへ

3月は自殺対策強化月間

国内の自殺者は年間25,000人前後で、府内でも約1,400人が亡くなっています。自殺は身近にある問題です。社会全体で支え合い、大切な命を守りましょう。

▶気づき＝変化に気づき声をかける ▶傾聴＝本人の気持ちを尊重し耳を傾ける ▶つなぎ＝早めに専門家に相談するよう促す ▶見守り＝温かく寄り添いじっとりと見守る

■一人で悩まず相談を

◎こころの電話相談

（☎ 06-6607-8814 ▷平日午前9時30分～午後5時）

◎関西いのちの電話

（☎ 06-6309-1121 ▷24時間）

問い合わせ

府こころの健康総合センター（☎ 06-6691-2818）



高齢者



©2016 府立花の文化園

すこやか体操教室

■こころの健康づくりの話と 体操

対象 65歳以上の市民

とき・ところ ①3月22日(火)Ⅱキックス、②25日(金)Ⅲ三日市市民ホール（フォレスト三日市内）▽時間はいずれも午前9時45分～11時45分

定員 各30人（先着順）▽①②いずれかのみ）

申し込み 3月7日から電話でいきいき高齢課へ

問い合わせ いきいき高齢課

自宅でできる 健康づくりプログラム

体力・筋力が低下し、外出が難しい人に、健康づくりのプログラムを提案します。

対象 要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の市民

内容 保健師が週1回、理学療法士が月1回訪問（期間は3か月）

申し込み 電話でいきいき高齢課へ

問い合わせ いきいき高齢課

子育て

子ども・子育て総合センターあいつくの催し

※場所の記載のないものは、あいつく（ノバティながの北館内）で開催します。

①育児講座「こんな時どうする？」～女性救命士と学ぶママができる応急手当～
▼対象 市内在住の子どもを持つ保護者（保護者のみの参加も可） ▼とき 3月15日（火）午前10時30分～正午 ▼定員 15組（抽選） ▼就学前の子どもの一時保育あり（定員12人）

員 15組（抽選） ▼就学前の子どもの一時保育あり（定員15人）

②育児講座「コモンセンスペアレディング」怒らない子育て・しつけを学ぼう！
▼対象 市内在住の子どもを持つ保護者 ▼とき 3月22日（火）・29日（火）午前10時15分～午後0時15分（2回シリーズ） ▼定員 12人（抽選） ▼就学前の子どもの一時保育あり（定員12人）

③ねずみちゃんのおはなし会
親子のためのわらべうたや絵本を紹介します。

0015本町24の1ノバティながの北館5階）へ
■キラキラねっとからの申し込み（2月29日から）
PCサイト <http://k-kira.jp>
携帯サイト <http://k-kira.jp/m>
※携帯サイトはQRコード（下図）から。

ベビータムお休みのお知らせ

3月7日（月）午後のベビータム（乳幼児健診センター）は会場の都合で開催しません。問い合わせ あいつく（☎50・4664 FAX50・4665）

子どもの健康教室・相談いろいろ

①もぐもぐ教室
対象 市内在住で生後5か月前後の子どもの保護者
とき 3月9日（水）午後1時15分～2時45分
ところ 保健センター
内容 離乳食（生後5～8か月頃）の正しい与え方など
定員 15人（先着順）
②かみかみ教室
対象 市内在住で生後9か月前後の子どもの保護者
とき 3月11日（金）午後1時30分～3時



写真「焚き火・焼き芋「ほかほか・ホクホク」体験の様子（18ページに関連記事）」

▼対象 市内在住のおおむね1歳6か月～2歳6か月の子どもとその保護者 ▼とき 3月24日（木）午前10時30分～11時 ▼定員 10組（抽選）
④育児講座「親子で作ろう！手作りおもちゃ」くねくねへび
▼対象 市内在住の平成19年4月2日～平成24年4月1日生まれの子どもの保護者 ▼とき 3月29日（火）午前10時30分～正午 ▼定員 10組（抽選） ▼材料費 10円程度
⑤親子の絆づくりプログラム「赤ちゃんがきた！」
第1子を育児中の母親同士で情報交換や仲間作りをします。

▼対象 市内在住の平成27年11月1日～平成28年2月10日生まれの第1子とその保護者 ▼とき 4月4日（月）・11日（月）・18日（月）・25日（月）午後1時～3時（4回シリーズ） ▼定員 14組
⑥親子であそぼ
親子で遊んだり、親同士の情報交換や仲間作りをします。

▼対象 平成26年4月1日までに生まれた市内在住の就学前の子どもの保護者 ▼とき 4月7日（水）・14日（水）・21日（水）・28日（水）、5月12日（水）

親子ふれあい教室「いち・に・のジャンプ！」

子どもには親子遊びや集団遊び、保護者にはスタッフ（保育士・保健師・心理相談員）による個別またはグループでの話し合いを通じて、問題解決のお手伝いをします。

対象 毎日の育児の中で「ことばが遅い」「落ち着きがない」などの心配ごとがある市内在住の親子（子どもはおおむね2歳～4歳）
とき 4月～9月（子どもの年齢に応じて曜日を設定、時間は午前10時～正午）
ところ あいつくなど
申し込み 3月7日～11日に電話であいつくへ（受付時間は午後1時～5時）
問い合わせ あいつく（☎50・4671）

教育・文化

くろまるキッズで学ぼう

市民大学「くろまる塾」の小中学生版「くろまるキッズ」の認定講座・イベントに

地域の子育て 集いの広場

就学前の子どもと保護者が集まり、自由に遊んだり交流したりする場所です。会場や内容など詳しくは問い合わせを。

●子育てわいわいルーム

場所	開催日	問い合わせ
三日市公民館	3月9日（水）	☎ 62-6155
千代田公民館	3月18日（金）	☎ 55-1125
南花台公民館	3月23日（水）	☎ 63-1131
加賀田公民館	3月25日（金）	☎ 62-2116

※時間は午前10時30分～正午▷駐車場には限りがあります。

●つどいの広場

場所	開催日
①ふあんふあーれ 三日市 ☎ 63-7242	毎週火・木・金曜日と3月7日（月）・14日（月）午前10時～午後3時30分 3月14日（月）は「けいこ先生のリズム遊び」（午前11時30分～）、24日（水）は「でんでん太鼓を作ろう！」（午前10時30分～）をします。
②ほのぼのルーム 大矢船 ☎ 62-3501	毎週月・水・木曜日午前10時～午後3時 3月29日（水）は「春の遠足」をします（午前11時～午後1時▷先着7組▷参加費100円▷弁当持参▷要予約）。

※この他にも福祉委員会・自治会主催の遊びの広場を各地域で開催しています。詳しくはあいつく（☎50-4664）へ問い合わせを。

午前10時15分～11時45分（5回シリーズ） ▼定員 12組（抽選・初参加者優先）
⑦双子・年子育児中ママの交流会
▼対象 就学前の多胎児や年子とその保護者（多胎児を妊娠中の人や保護者のみの参加も可） ▼とき 3月7日（月）午前10時30分～正午 ▼当日直接会場へ
⑧アレルギーっ子の交流会
▼対象 アレルギーの情報が欲しい保護者と就学前の子どもの（保護者のみの参加も可）

▼とき 3月10日（木）午前10時30分～正午 ▼当日直接会場へ
⑨おでかけわくわく広場
▼対象 就学前の子どもとその保護者 ▼とき 3月25日（金）午前10時30分～正午（雨天中止） ▼ところ 美加の台第1公園 ▼当日直接会場へ
①～⑥の申し込み はがきかファクスに親子の氏名（ふりがな）、子の生年月日、性別、第何子か、住所、電話番号、子育てで気になることと催し名を記入して3月9日（必着）までにあいつく（〒586-1

参加するともらえる「くろまるキッズシール」を集めて応募いただくと、1年間の成果として「くろまるキッズ証書」をお渡しします。

ただいた中から抽選で素敵なプレゼントを差し上げます。
問い合わせ 青少年育成課（キックス内、☎54・0005）



■集めたシールを応募しよう！
平成27年度に集めたシールの応募期間は4月1日～16日（当日消印有効）です。応募い



スタジオキャッツアイが全国大会で優勝

「スタジオ キャッツアイ ジュニア」が12月に千葉県で開催された「第43回バトントワーリング全国大会」（（一社）日本バトン協会主催）に出場し、U-12の部（バトン編成）で優勝を果たしました。1月13日、同チームの選手・関係者が市役所を訪れ、芝田市長に喜びの声を伝えました。

問い合わせ 文化・スポーツ振興課

226 チームが健脚競う 南大阪駅伝競走大会

南大阪駅伝競走大会（南河内地区5市1町1村教育委員会、松原市、河内町など主催）が2月7日、富田林市のPL教団本庁内コース（6区間、計20・1km）で開催されました。南河内地区から226チームが出場し、一般・高校・中学の各男女と混成の計7部門で争われました。市内から出場したチームの主な成績（3位以内）は次のとおりです。

【一般男子】2位＝かわきたとゆかいな仲間たち

【高校男子】3位＝清教学園A



①今回1176回を跳び優勝した「高向ファイターズ」
②準優勝の「絆の力」の競技の様子

練習の成果がでたかな？ 小学生ロープジャンプ大会

2月11日、市民総合体育館で小学生ロープジャンプ大会（NPO法人河内長野市総合スポーツ振興会主催）が開かれ、10チームが出場しました。

各チームは、2人が回す長縄の中を1人ずつ次々と入れ替わる「8の字跳び」に挑戦。1回3分の競技を3回ずつ行い、跳んだ合計回数を競い合いました。保護者や教員が見守る中、子どもたちは声を掛け合いながら、練習の成果を披露していました。



①一斉にスタートする選手たち ②中継所でたすきを受け取るランナー



▲地域の取り組みをパネルにて紹介

みんなで考えよう！自分たちのまち 地域まちづくりシンポジウム

2月13日、キックスで開催された「地域まちづくりシンポジウム」。地域課題の解決に取り組む11小学校区の地域まちづくり協議会が集まり、各協議会の活動内容を紹介するパネル展示などを通して、活発な情報共有が行われました。また、各協議会に共通するテーマ「広報」「防災」などについて、参加者が活動の悩みや工夫を発表し、市政アドバイザーの山崎亮さんからアドバイスを受け、今後の取り組みへの意識を高めていました。



①芋をおいしく焼くコツを教わる参加者 ②③薪割りや火起こし体験の様子 ④⑤上手に焼けた芋を試食



上手に焼けました～♪ 焚き火・焼き芋「ほかほか・ホクホク」体験

府宮長野公園（奥河内天野キャンプの森）で1月31日、「焚き火・焼き芋『ほかほか・ホクホク』体験」（同公園管理事務所・NPO法人森林ボランティアトモロス共催）が開催されました。

参加した親子らは普段の生活では体験できない薪割りや火起こしに挑戦。スタッフからそのコツや方法を教わりながら、自分で作った焼き芋を食べ、自然の中で色々なことが学べる時間になりました。



▲あやとりを教わる親子

地域ぐるみで家族を応援 子育て・孫育てフェスタ

「子育て・孫育てフェスタ」が2月7日、キックスであり、約300人が来場しました。家族が共に学び合い、育ち合う家庭教育を地域全体で応援しようと、様々な活動に取り組む23団体が集まり開催。家族で楽しめる遊びや体験、展示のほか、「携帯・スマホ・ネットに潜む危険性」をテーマにした講演会などが行われました。訪れた人たちは、子どもたちを取り巻く様々な問題への理解を深めるとともに、家族や協力団体の人たちとの交流を楽しみました。

フォトニュースかわちながの
Photo news
まちの話題をお届けします